

目黒めいすい広場



令和2年10月21日発行 第13号
目黒区明るい選挙推進協議会
(〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15/TEL: 03-5722-9299)

「目黒めいすい広場」は、明るい選挙推進委員の情報交換や選挙に関する情報提供を目的に、年2回発行しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため推進委員のみならず、みなさまにご参加いただく選挙啓発行事がほとんど中止となってしまいました。今号では、コロナ禍で行われた選挙と上半期に実施した事業の様子についてお伝えします。明るい選挙推進活動の際にぜひご活用ください。

コロナ禍での選挙 ～目黒区長選挙・東京都知事選挙～

緊急事態宣言発令中に執行した目黒区長選挙

4月7日に政府は、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言を東京都にも発令し、不要不急の外出の自粛が求められました。そのような状況の中、投票所では感染症対策を行い、投票にくる方々が安心して投票できる環境（次ページ参照）を整備しました。また、開票所では、密を避ける対策を講じた上、目黒区選挙管理委員会では以下の理由により予定通り、4月19日（日）に目黒区長選挙を執行しました。

- ①選挙は憲法により保障されている権利であり、民主主義の根幹をなすもので、不要不急の外出にはあたらないため。
- ②任期満了の選挙のため、その任期が終わる前三十日以内に選挙を執行する旨、公職選挙法に規定されているため。
- ③非常事態の中、区長不在期間が生じてしまうため。

他の自治体の選挙の投票率が軒並み下がっていたことから、投票率の低下が心配されましたが、今回の目黒区長選挙の投票率は、前回平成28年を上回る**33.33%**でした。

今回、コロナ禍のため、従来行われていた街頭啓発等の啓発活動は中止となりましたが、みなさまの日頃の啓発活動のおかげもあり、投票率が前回より約7ポイントも向上しました。



コロナ禍の夏、東京都知事選挙

引き続き、新型コロナウイルス感染症がまん延する中で、令和2年7月5日（日）に東京都知事選挙が執行されました。立候補者数は過去最多の22名でした。目黒区長選挙に引き続き、より一層の感染症対策を行いました。

区長選挙に引き続き啓発活動は中止となり、有権者の方に対して、なかなか投票参加の呼びかけを行うことができない状況でしたが、投票率は**54.62%**となりました。前回から約5ポイント下がり、約5割の投票率でした。

感染拡大が懸念される中での選挙ではありましたが、コロナ禍だからこそ、政治を身近に感じ、その政治を動かす政治家を選ぶ投票の重要性を考える選挙になりました。



▲ 開票所の様子。密を避けて開票作業を行いました。

投票所での感染症対策の取り組みについて

投票所で行われた新型コロナウイルス感染症対策の例を紹介します！

入口



- ▲ 投票所出入口に設置した手指消毒液

名簿対照係



- ▲ 各係に飛沫防止シートを設置し、職員は手袋着用で従事しました。

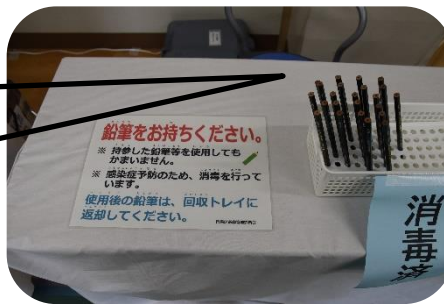


用紙交付係

- ▲ 投票用紙の交付も接触を防ぐため、投票に来たかたご自身で用紙を取っていただく方法に変更しました。



- ▲ 職員が念入りに消毒している様子



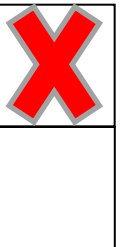
- ◀ 記載所には鉛筆は置かず、消毒した鉛筆を用意しました。また、持参した鉛筆使用も可能である旨周知しました。



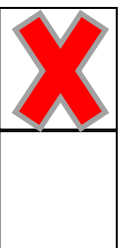
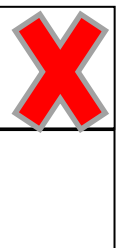
- ▲ 毎回好評の風船は、膨らませずお取りいただく方法になりました。また、投票所の空気を循環させるため、外側に向けて扇風機を設置しました。



投票記載所



- ▲ 記載所は間隔をあけるため、記載場所を減らしました。



出口



- ▲ 投票人と距離がとれない投票所では、投票管理者・投票立会人席にも飛沫防止シートを設置しました。

小学校で選挙出前講座を行いました！in 宮前小学校（初）

令和2年7月29日、宮前小学校にて、6年生の児童を対象に選挙出前講座を行いました。宮前小学校での実施は今回が初めてです。若者の投票率の低さや一票の重み、投票に行くことの大切さをクイズや啓発動画を織り交ぜ、楽しみながら学んでもらいました。また、架空の選挙「宮前区長選挙」の模擬投票を本物の選挙資機材（投票箱、記載台、用紙交付機）を使用して行いました。児童は、候補者の演説を聞き、選挙公報を読み、投票先を真剣に考え、投票をしました。今回、実際の投票所と同様に感染症対策として、手指消毒液・飛沫防止シートを設置して、実施しました。

授業の途中には、めいすいくんが登場し、投票するまでの流れを実演しました。また、普段なかなか見ることのない用紙計数機を使って開票作業をしました。児童にとっては、初めての体験が盛りだくさんの内容になりました。

授業を受けた児童からは、「一票の重みや投票に行くことの大切さを知った。」「大人になったら、日本のために選挙に行きたい。」という熱い声があがりました。今回は感染症拡大防止のため、残念ながら推進委員のみなさまへのご参加を呼びかけることができませんでしたが、児童にコロナ禍の状況での選挙を体験していただく貴重な機会になりました。



▲ 選挙クイズもあり、楽しみながら授業を受けている様子



◀ 今回は、事務局職員が候補者役となりました。フェイスシールドを装着し、本物さながらの熱い演説をしました！



▲ 実際の投票所と同様、消毒液、飛沫防止シートを設置し、感染症対策をして、投票してもらいました。



▲ お茶目なめいすいくんも登場！投票方法を教えてくれました。

芸術の秋！明るい選挙ポスターコンクール目黒区審査会開催

令和2年9月11日に、毎年恒例の明るい選挙ポスターコンクール目黒区審査会が開催されました。コロナ禍で夏休みが短縮されている中での募集となりましたが、今年も力作ぞろいの計339作品の応募がありました。また、審査員として、明るい選挙推進委員の**長谷川くみえ委員**と**宗方洋子委員**にご参加いただきました。ご協力いただきありがとうございました。

今回の審査会により、目黒区の入選作品22作品が決定しました。その中から、一部の作品が東京都の審査会へすすんでおります。入選作品は、今後「めいすい広場」や目黒区のホームページなどに掲載するほか、12月に発行予定の来年のカレンダーや啓発ポスター、メモ帳など、推進委員のみなさまにもご活用いただく啓発グッズになりますので、お楽しみに！



▲ 審査する宗方委員（写真左）と長谷川委員（写真右）



▲ どの作品が、啓発グッズとして選ばれるのか乞うご期待！



○編集後記

新型コロナウイルス感染症という未知のウイルスが2月頃から拡大し、3月には一気にまん延する事態となりました。そんな中、4月に目黒区長選挙、7月に東京都知事選挙が予定通り執行されました。従来とは異なり、感染症対策に取り組んだ上での選挙執行となり、明るい選挙推進委員のみなさまには、大変ご負担をおかけしました。また、このような状況の中、投票管理者・投票立会人として、多大なるご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

残念ながら、今年度は明るい選挙推進委員全体会も延期となり、なかなか推進委員のみなさまと顔を合わす機会もなく、現在も活動が制約されている状況でございます。

しかしながら、明るい選挙推進のために、新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながらではありますが、啓発活動の方法も工夫し、これまで以上にみなさまで力を合わせ、活動を活発化させていきたいと思っております。事務局としてもそのお手伝いをさせていただきますので、今後も明るい選挙推進運動へのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

目黒区選挙管理委員会事務局